

F P まつもと通信

ちょっと得する「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

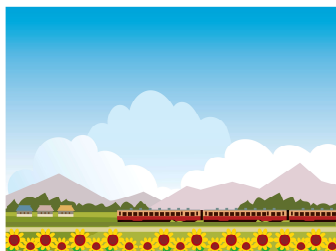
ご挨拶

8月はお墓参りに行く人もいないのではないのでしょうか？昨年はオンライン墓参りなどが話題になりましたね。

厚生労働省「衛生行政報告例」によるとお墓の改葬申請数は、2017年：104,493件、2018年：115,384件、2019年：124,346年、と年々増加しているようです。

背景には少子高齢化による「お墓の承継者」「維持管理の経費と手間」「お墓へのアクセス」などの問題があるようです。

お盆の時期、お墓の将来について少し考えてもよいかもしれませんね。



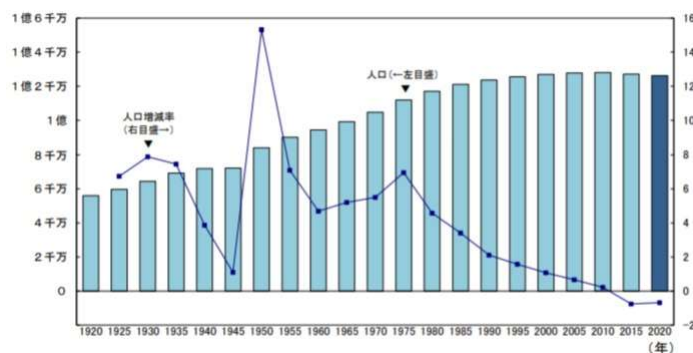
今月号のちょっと気になるお金のコラム

「うちの子はゲームばかりして」と嘆いている方もいるかもしれません。最近話題のeスポーツの賞金を見ると少し考えが変わるかもしれません。

人口1億2622万人に減少

総務省は6月、2020年国勢調査の人口速報値を発表しました。それによると日本の総人口は1億2625万6568人と2015年の前回調査から86万8177人減少しました。

人口及び人口増減率の推移（1920年～）
左軸：人口 右軸：5年間の増減率



令和2年 国勢調査口速報集計結果より

ところで1974年に開かれた「第一回 日本人口会議」はご存じですか？

この会議では、「狭い日本にこれ以上人口が増えるのは問題、そのために子どもは2人まで」といった議論がされています。47年前には国を挙げて人口抑制に取組み、今となれば皮肉にもそれが実現したわけです。

現在の少子化対策も将来、実を結ぶことを期待したいですね。ただし人口問題は形に表れるまで何十年もかかります。それまでに必要な準備はしっかりとしておく必要がありますね。



F P 松本相談センター
ファイナンシャルアドバイザー
媚山裕之

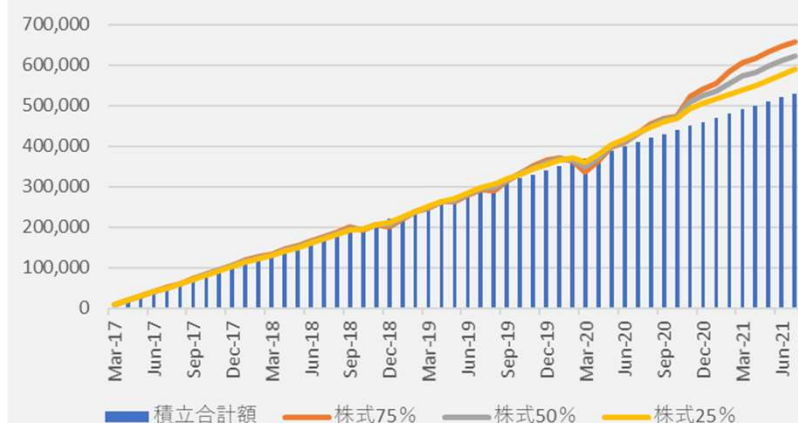
〒390-1702
長野県松本市梓川梓856-26
0263-76-1250
090-8741-7358
info@fp-matsumoto.com
<https://fp-matsumoto.com>



2012年から2015年までの3年間、社会保険労務士として「年金事務所における年金相談業務」に従事。そこで、数多くの“悲惨な老後の実態”を目の当たりにし、老後に向けた資産形成の必要性を痛感。国も勤める、“確定拠出年金”や“つみたてNISA”を活用した「長期・分散・つみたて投資」を真面目に、地道に推進。クイズやゲームを活用した『つみたて投資セミナー』は「わかりやすく、ためになる！」と多くの受講者からご支持をいただいております。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

積立投資の推移



N社バランスファンドのデータによる（コスト控除後）

	積立合計額	株式75%	株式50%	株式25%
2021年5末	510,000	632,720	596,886	562,176
2021年6末	520,000	647,618	610,531	575,221
2021年7末	530,000	658,219	622,742	589,499

2017年3月から開始した積立投資は図表のようになりました。

確定拠出年金のような長期の積立投資で成果を得るためには以下のポイントが大切です。

投資期間に応じた資産配分

積立期間が長い場合には株式の比率を多く、受取時期が近くなったら値動きが小さい債券の比率を多めにする。

大幅に値下がりした場合

積立期間が十分にある場合は、株式への資産配分の増額、掛金の増額を検討する。

株式・債券の特徴を理解して長期継続する。

株式や債券の特徴をよく理解して、様々なニュースや情報に惑わされず投資を長期継続することが成果に結びつきます。

	日経平均	NYダウ	ドル円
6月末	28791.53	34633.53	111.53
7月末	27283.59	34935.47	109.66
	-5.24%	0.87%	

NYダウ高値更新

NYダウ平均株価は7月26日には35144.31と一日の終値で初めて35,000ドルを上回りました。月末終値でも高値を更新しました。

4-6月期の決算も堅調のようです。

GAFAMと言われるIT大手の純利益の合計は8兆2千億円と前年比88%増になりました。（日本経済新聞7/31）

日本企業も、「上場企業7割、コロナ前回復」（日本経済新聞7/31）と堅調のようです。

「実体経済と株価の乖離」と言われてきましたが株式市場はこのような企業業績を織り込んできていたとみることもできるかもしれません。

新型コロナの感染者数の推移を見ると感染力が強いデルタ型を中心に世界的に増加をしています。

デルタ型感染者の中にはワクチン接種した人も多く、ワクチンの効果に期待と乖離があるとマーケットは調整するかもしれません。

そのような状況になると大きなニュースになると思いますが長期の積立投資では値動きに惑わされずに継続することが大切です。

当コラムは、商品選択の考え方、価格変動やニュースなどにどう対応するべきかについての一つの考え方をお伝えするもので、特定の運用商品、運営管理機関を推奨するものではありません。また、特定の商品の将来のパフォーマンスを約束するものでないことをご理解の上、ご覧ください。記載の情報（税制・社会保障制度・金融商品・マーケット・価格情報等）は発行日時点での情報に基づくもので将来は変更になることもあります。数値は公表されているデータに基づき当社にて計算・加工をしています、正確性を保証するものではありません。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

積立投資はいつから始めるのがよい？

将来のために積立をした方が良いのはわかるがいつから始めればよいかわ迷っている人もいるのではないのでしょうか？

下図は当シミュレーションに使っている株式75の設定来の価格推移です。



1年前にコロナで下落していた時はさらに値下がりするのでとは不安に感じたり、今に至り高値を更新していくと高すぎるのでは、と感じたりする人も多いのではないのでしょうか？

必要とわかっていてもなかなか始められないのは、開始してすぐに大幅に値下がりしたらいやだ、と感じるからだと思います。

今月は積立投資を開始してすぐに値下がりしてしまったケース（Aさん）と順調に値上がりしていったケース（Bさん）を比べてみます。

積立開始から2021年6月までの比較

	Aさん	Bさん
積立額	10,000	11,611
積立月数	173	149
積立総額	1,730,000	1,730,000
評価額	3,136,272	3,056,964
	1.81倍	1.77倍

積立開始から2014年6月までの比較

2014年はAさんの開始価格まで戻った時です。一方Bさんは順調に値上がりしている最中です。

	Aさん	Bさん
積立額	10,000	11,611
積立月数	89	65
積立総額	890,000	754,698
評価額	1,199,698	1,042,921
	1.35倍	1.38倍

2021年6月までで見るとAさんの方が、一方2014年6月まででみるとBさんの方が良い成績でした。ただしその差はわずかでした。

積立投資でお金を殖やすには？

Aさんの積立開始時期の価格は1.41、Bさんの積立開始時期の価格は0.75と2倍近い差がありますが、実際の成果ではほとんど変わりませんでした。

このことから長期の積立投資でお金を殖やすためには以下が大切だとわかります。

- 長期の積立投資では開始時期はあまり影響しない
- 価格を気にせずに早く始める方が良い
- 金額の大小よりも積立期間の長短が大切
- 値下がり時に辞めずに継続する

老後に向けた準備を検討しているのであれば値動きに合わせるのではなく、なるべく早く積立を開始することが大切です。

ちょっと気になるお金のコラム

eスポーツとは

ゲームばかりしている子どもに、注意をしたことがある人も多いのではないのでしょうか？

最近話題になることも多くなってきた「eスポーツ」の賞金額をみると少し見方が変わるかもしれませんね。

「eスポーツ(esports)」とは、「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称、とあります（一般社団法人日本eスポーツ連合）。

コンピューターゲーム！？、と感じる人も多いかもしれませんが国際オリンピック委員会（IOC）も今年5月～6月にオリンピックバーチャルシリーズを公認、野球など5競技を実施しています。また世界最高峰の自転車ロードレース「ツール・ド・フランス」もバーチャルレースを開催しました。

スポンサー収入などを含めたeスポーツ世界市場規模は2021年に10億8410万ドル（約1200億円）、24年には16億1770万ドル（約1790億円）になると予想されています（日本経済新聞2021年7月10日）。

eスポーツの賞金ランキングは

<https://www.esportsearnings.com/games>、というサイトに賞金総額ランキングが掲載されています。1位の「N0tail」の獲得賞金総額は7億円以上になります。

獲得賞金ランキング（プレイヤー）

	Player ID	国	Total (Overall)
1	N0tail	デンマーク	\$6,983,817.80
2	JerAx	フィンランド	\$6,470,548.78
3	ana	オーストラリア	\$6,004,411.96
4	Ceb	フランス	\$5,573,712.41
5	Topson	フィンランド	\$5,490,317.57
6	KuroKy	ドイツ	\$5,215,504.15
7	Miracle-	ヨルダン	\$4,818,441.68
8	MinD_ContRoL	ブルガリア	\$4,599,516.16
9	GH	レバノン	\$4,213,810.69
10	Matumbaman	フィンランド	\$3,787,569.04

賞金以外にもスポンサー収入やゲーム解説の配信などの収入源があります。ランキングには載っていませんがアメリカの「Ninja」は登録者数2300万人を超えるYouTubeチャンネルを持ち、年収が6億円を超えていると言われています。

単独の大会の賞金ランキングベスト3

	大会名称（ゲーム名）	賞金総額	参加人数
1	The International 2019 (Dota 2)	34,330,069	18 Teams 90 Players
2	The International 2018 (Dota 2)	25,532,177	18 Teams 90 Players
3	The International 2017 (Dota 2)	24,687,919	18 Teams 90 Players

Dota2というゲームの2019年世界大会の賞金総額はなんと3400万ドル（約37億円）です。

ちなみにテニスのウィンブルドンの賞金総額が約50億円、松山英樹選手が優勝したゴルフのマスターズの賞金総額が約12億円ですからその大きさがわかります。

習い事の一つにeスポーツ教室が入る日も近いかもしれませんね。